

採択理由

プログラム名： 国際共同研究の推進
課題名： コンクリート構造物の LCM 国際標準の確立
代表者名： 上田 多門
所属機関名： 北海道大学

コメント

本提案は、コンクリート構造物の新たなライフサイクルマネジメント（LCM）の国際標準を、日本の主導でアジア・アフリカと協働で作成することを目指すものである。

特に、劣化環境作用下のコンクリート構造物の寿命予測技術と劣化対策技術を、対象国の建設材料の品質と環境条件の地域性を考慮した上で提示することの意義は高く、日本がこの問題の解決で果たす役割に対する期待は大きい。また、LCM 国際標準の確立により補修・補強技術が発展し、現存の社会基盤施設の延命も期待できる。国際標準規格制定への見通しが明確であり、アジア・アフリカ発の国際標準の創出という試みが高く評価される。

なお課題の実施に当たっては、社会基盤施設を構造物群として危険を予測することも必要であり、過去の損傷事故の内容の調査分析も進められることを希望する。また、見込まれる国際共同研究の成果と標準化への道筋との関係がやや希薄に思われるので、本プロジェクトが標準化に向けた活動であることに留意して実施されることを望む。